

磐城中正新報

發行日 毎月二回一日十五日
定額共 一部金拾錢
廣告料 普通欄十二字詰一行
印刷人 安澤榮作

九月の縣議戦に

立候補は結局八名

政、民兩派共顔振れ決る

民政黨

九月の縣議戦に石城郡より

政友會

兵戦を展開するであらう

公認すべき候補者に就ては
政、民兩派とも數ヶ月前より
九月の縣議戦に石城郡より

平庶民金庫の

業務擴張と移轉

信用組合平庶民金庫は業務
原、鷲の三氏と政敵政友派

藥湯で名高き

聚樂園の新座敷と

飯田氏の奉仕的事業

中名物の一に數へらる、城新式改良釜を使用し浴槽
山の聚樂園は清潔な座敷と流湯、脱衣所等も廣く湯水

「中正放送」
△古河の好間鏡業所も現
下の不況対策として港谷

△去月中は霖雨に惱まれ今
月は干天に惱まる兎角世
の中は齋翁が馬か

△近來平町に此の不況時に
新築家屋の數五十餘其代
表的なるもの曰く矢吹醫

謹告
來ル舊孟蘭盆ハ亡妻よし子ノ
新盆ニ相當致シ候へ共時節柄

女の給
平田町
氣平
某カフエ

- 暑中御伺 (順不同)
多田井笑次郎
山崎與三郎
大角金藏

夫は、考へても一刻損だはれ
女は、考へても一刻損だはれ
なぞ、思ふ存分華々しい活動をし

暑中御伺

片倉磐城製糸株式會社

平町會議員一同

關內藥局
平町四丁目
電話四〇番

大一屋商店
平町二丁目
電話一三番

平庶民金庫
信用組合
平町二丁目

平營業所
東部電力株式會社

磐城建物株式會社

聚樂園
平町城山
飯田近治

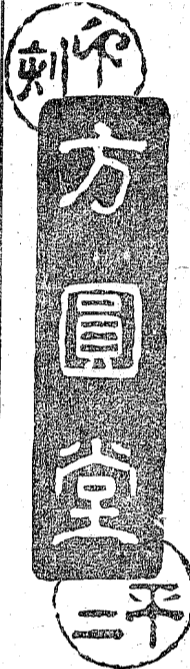
山崎合名會社

なみや洋服店
平町二丁目
電話二〇三番

玉屋洋品店
平町北目
電話六五六番

赤羽鐵太郎
平町北目

清野キヨ
平南町



石城郡町村長會
磐城炭礦鑛業所
入山採炭株式會社湯本坑務所
古河礦業株式會社好間鑛業所
小田炭礦株式會社萩原鑛業所
五十嵐炭礦不動澤鑛業所

杉山炭礦鑛業所
浪花炭礦鑛業所
古市粘土石炭採掘所

平藝妓屋組合
平町旅館組合
平三業保健組合

小野常治商店
藥種商
平町四丁目 電話一四四番

讀書子の忠實な番頭

書籍、雜誌、文房具

柴田書店
マルトモ
平町四丁目 電話三三四、五九七番

鹽豚、牛、豚の味噌つけ
(百々各四十錢)

食肉三三三屋
卸小賣
平町三丁目 電話三三三番

氷水の御用命は
是非藤市へ
平町二丁目 電話三〇五番

湯本信用會社
株式會社
無盡
平町二丁目

磐城無盡商會
平町大町

銘酒 近藤
馬目支店
平町田
電話二五四番

和洋銅鐵金物問屋
磐城セメント株式會社特約代理店

釜屋商店
平町五丁目
電話九番九九番

各國漆器各種
丸はん家具店
平町三丁目 電話三五九番

市原醫院
市原 卯太郎
平町田町 電話一四四番

和洋小間物卸小賣
大黒屋洋品店
平町三丁目 電話一六六番

萬仕立物
丸屋號 齊藤足袋店
平町一丁目

藥種商
西村藥舖
平町二丁目 電話三番

御料理、鮮魚仕出し
簡易食堂 魚清
平町二丁目 電話六三三番

海老原洗濯店
平町搔槌小路

御料理 よし本
平町大町 電話五八三番